

平成 27 年度 ワークセンター夢の樹 就労継続支援 B 型 事業実績報告書

1 はじめに

数年来利用者の高齢化による機能低下や生活基盤の変化と作業ニーズの高さをどのように均衡させるのかが大きな課題であった。作業をそのニーズの中心に据えながら生活面での課題が顕在化する利用者が増加する傾向にあり、これらの課題に対応することが通所の安定化に直結するといえる。そのための相談支援の充実には毎年事業計画の重点課題に挙げてきたが、職員の定着が進まず、その基本となる信頼関係の構築の段階で失敗を繰り返してきたといえる。27年度に入り職員態勢が安定する傾向にあり、チーム支援を行なう基盤がようやく整備されてきた。ケース担当制を実施し、個別面談を行なったことで一人ひとりの利用者の生活状況、ニーズ等の把握に努め、課題に対して少しずつ対応出来てきている。今後、利用者の高齢化と生活課題の多様化は大きなテーマとして継続していくと推測され、相談支援は益々その重要性を増してくる。27年度はそのスタート地点のようによく立てたといえるが、本当に充実させていくためには、関係性構築、課題の整理や解決技術、ネットワーク等中長期的、段階的に取り組み向上させていく必要がある。

利用者の職業生活を保障すると視点から一步踏み込みそのための生活基盤の安定化に目を向け、支援が行なえる事業所に発展させていきたい。

2 事業主体

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労継続支援 B 型
- 2) 所在地 東京都小平市大沼町 2-1-3
- 3) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 4) 利用定員 30 人
- 5) 利用現員 45 人 (平成 27 年 3 月 31 日現在)
- 6) 法人認可年月日 平成 14 年 12 月 11 日
- 7) 事業開始年月日 平成 20 年 4 月 1 日
- 8) 職員 10 名 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現の支援。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
安心と希望の持てる生活。

4 利用者の支援

1) 就労支援

(1) 基本方針の実施に向けた取り組み

- ① 利用者一人ひとりの作業内容の充実化
約半数の利用者が携われる作業種を一件増やしたことにより、利用者の作業の幅が広がった。
- ② 作業収入の増収
生産効率の良い作業開拓は出来なかったが、全体の作業受注量が増加し効率的に作業が行えたことにより、昨年度約 635 万円であった作業収入が 673 万円となり、38 万円の増収が図られ、平成 22 年の事業再編後初めて利用者へ総額約 60 万円の臨時賞与の支給を行なった。その結果、時給は前年度に比べ、25 円アップとなった。

(2) 作業種目

- ① 事務封筒作成
- ② 補助錠加工

- ③ ショッピングバッグ作成
- ④ ダイレクトメール封入
- ⑤ その他受注作業
- ⑥ 清掃（児童公園・神社）
- ⑦ 緑化推進事業
- ⑧ アンサースタジオ作業

(3) 作業収益及び工賃等

① 作業総収入	6, 7 3 3, 7 8 4 円（前年度 6, 3 5 2, 1 6 9 円）
② 工賃総額	5, 4 5 4, 1 9 0 円（前年度 4, 9 7 7, 8 9 0 円）
③ 平均工賃	月額 1 0, 6 7 6 円（前年度 1 0, 4 1 4 円）
	日給 8 3 8 円（前年度 7 4 2 円）
	時給 2 3 4 円（前年度 2 0 8 円）

2) 生活支援

(1) 基本方針の実施に向けた取り組み

① 相談支援の充実

利用者全員と個別面談を実施し、事業所での活動や生活全般に関して現在の状況やニーズ等の聴取を行った。一部利用者については課題の整理を行い、職員全体で共有を行った。事業所内部での課題については即時対応し、解決を図ることが出来たが、生活全般にわたる課題については、課題の把握に留まったことが多かった。

② ケース担当制の実施

26年度に引き続きケース担当制を実施し、個別面談等で把握した課題に丁寧に対応できる体制作りを行った。26年度は職員が定着せず、ケース担当制が機能しなかったが、27年度は担当職員と利用者の関係性の構築が進んだほか、課題解決に関して担当職員から提案が行われる場面も多くみられた。しかし、解決に向けた手法など不十分な点も見られ、今後のスキルアップが課題となる。

③ 地域資源の学習とネットワーク強化

4月～6月に訓練等給付費の仕組みなどの学習会を行なった。7月より社会資源や制度について学習会を実施する予定だったが、日常業務を優先したため実施出来なかった。またいくつかのケースを通じて関係機関とのネットワークが強化された。

(2) 福利厚生

- ① 喫茶（月2回）
- ② 旅行（年1回）
- ③ 行事（忘年会・日帰りバスハイク・初詣）

5 開所状況

1) 開所期間 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

2) 開所日数

(1) 週開所日数 5日間

(2) 開所時間 午前8時30分～午後4時

(3) 年間延開所日数 243日間

(4) 平均作業時間 4時間

6 利用状況

(1) 利用者延人員 6, 600人

(2) 1日平均利用人員 27.2人

(3) 体験実習実人員 6人

(4) 体験実習延人員 19人

(5) 企業職場実習実人員 1人

(6) 企業職場実習延人員 20人

7 利用者状況(平成27年3月31日現在)

1) 年齢

20歳以上30歳未満	3名		
30歳以上40歳未満	4名		
40歳以上50歳未満	10名		
50歳以上60歳未満	11名		
60歳以上70歳未満	12名		
70歳以上	5名	平均年齢	53.9歳

2) 障害の状況

愛の手帳3度	1名		
愛の手帳4度	12名	(内身障手帳所持 3名、精神保健手帳保持 1名)	
身体障害者手帳1級	11名	(内精神保健手帳所持 1名)	
身体障害者手帳2級	7名		
身体障害者手帳3級	4名	(内精神保健手帳所持 1名)	
身体障害者手帳4級	3名	(内愛の手帳所持者 2名、精神保健手帳所持 1名)	
身体障害者手帳5級	3名	(内愛の手帳所持 1名)	
身体障害者手帳6級	1名		
精神保健手帳1級	1名		
精神保健手帳2級	4名	(内愛の手帳保持 1名、身障手帳所持 2名)	
精神保健手帳3級	4名	(内身障手帳所持 1名)	

3) 通所手段

送迎車利用	18名	(内4名交通機関、1名家族送迎と併用)
交通機関利用	16名	(内4名送迎車両と併用)
徒歩等	10名	
家族送迎	1名	(内1名送迎車両と併用)

4) 居住状況

管内居住	41名	管外居住	4名
------	-----	------	----

5) 性別

男性	37名	女性	8名
----	-----	----	----

8 職員配置 (平成27年3月31日現在)

1) 常勤 6名

管理者	1名	サービス管理責任者	1名	職業指導員	3名
生活支援員	1名	目標工賃達成指導員	1名		

2) 非常勤 3名

職業指導員	0名 (常勤換算0.0)	生活支援員	3名 (常勤換算2.2)
-------	--------------	-------	--------------

9 防災

災害時避難訓練を年3回実施した。

10 その他

福祉サービス第三者評価受診。